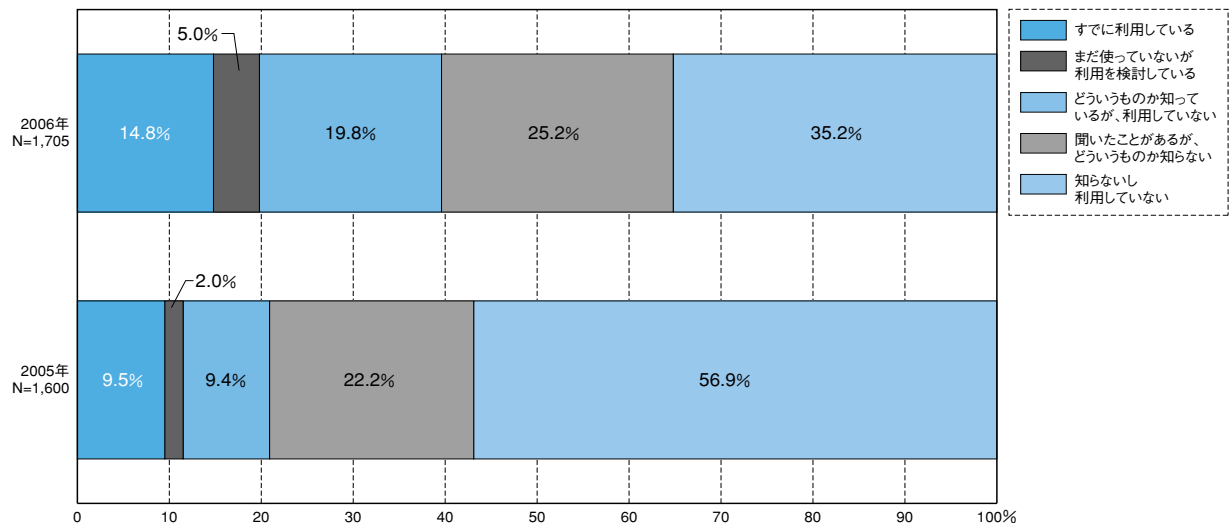


RSS

RSSリーダーの認知率は64.8%、利用は14.8%

資料2-1-18 RSSリーダーの認知度と利用 [2005年-2006年]

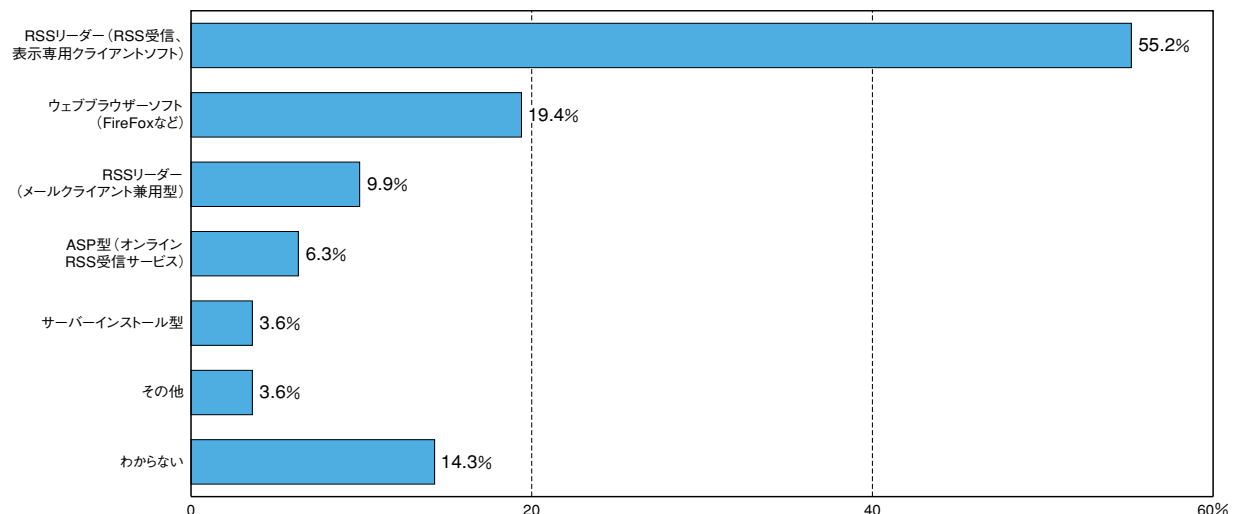


©Access Media/impress R&D,2006

RSSリーダーの認知率は、2005年よりも約2割増の64.8%と、その存在が知られたってきた。ただし、本調査回答者がインターネットアクティブユーザーであるという点から若干高い数値であると思われる。年代別でも10代、20代の利用率が高く、検索サービスの使い分けなどを積極的に行い、効率性を求める利用者である点から、支持率が高いのはうなずける結果である。

55.2%がRSS受信、表示専用クライアントソフトウェア

資料2-1-19 利用しているRSSリーダーの種類 (複数回答) N=252



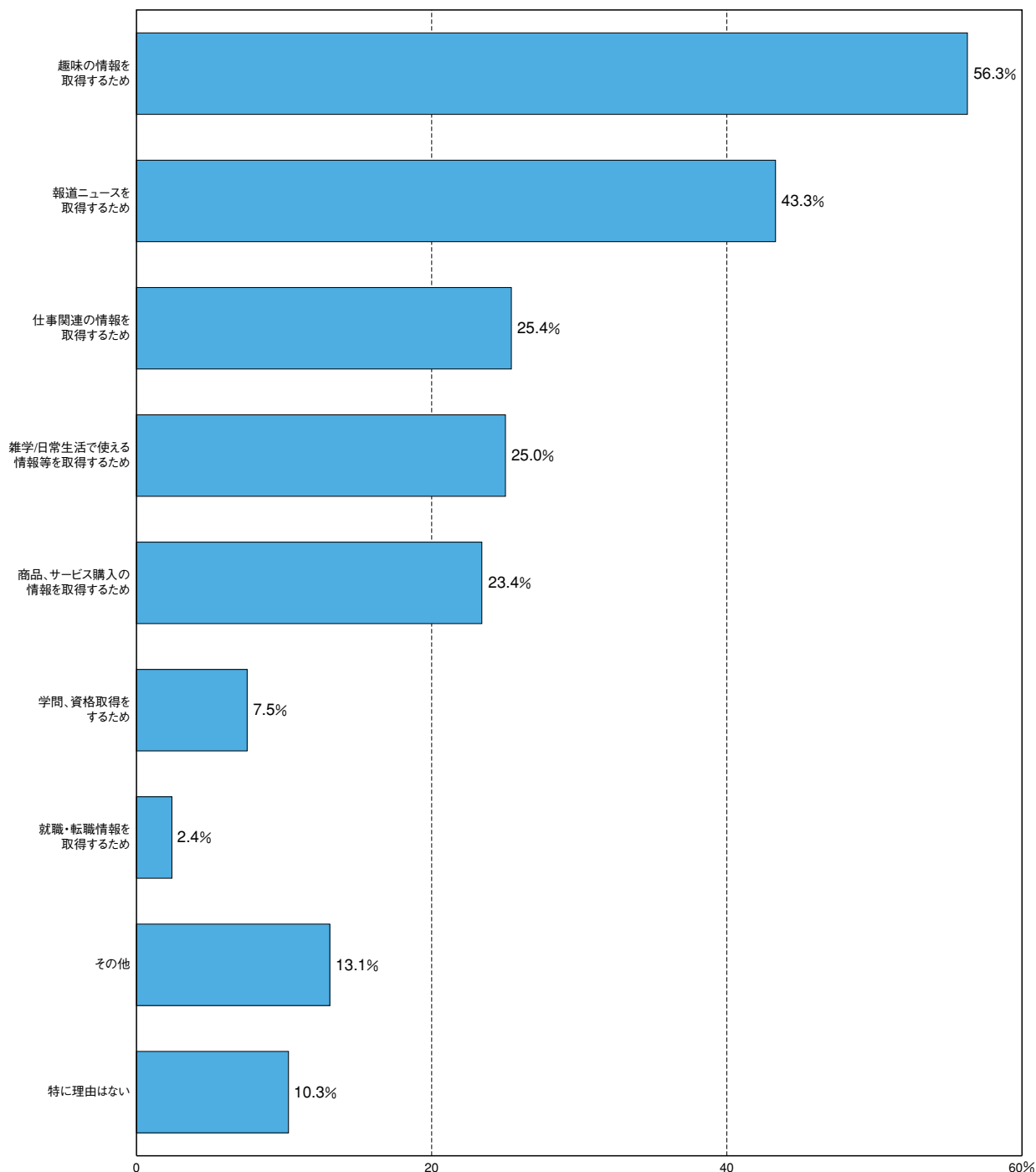
©Access Media/impress R&D,2006

RSSリーダー利用者252サンプルに対して、利用しているRSSリーダー利用のためのアプリケーションソフトまたは受信方法についてその種類を聞いた。最も利用されているのは「RSSリーダー (RSS受信、表示専用クライアントソフト)」で55.2%である。クライアント側で利用できる点や、メールソフトと同等のユーザビリティを提供しているものが多く、利用しやすさから支持率が高いものと推測される。

RSS

利用目的は、趣味の情報を取得するため

資料2-1-20 RSSリーダーを利用する目的（複数回答） N=252



©Access Media/impress R&D,2006

RSSリーダー利用者252サンプルに対してその利用目的を聞いたところ、速報力のある報道ニュース（43.3%）を抑え、「趣味の情報を取得するため」が56.3%でトップである。自分のニーズが最も高いものをいち早く知りたいということや、見落とさないための利用ということがうかがえる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp